

いじめ防止対策及び 働き方改革の取り組み



広島市立安佐中学校

働き方改革について

1. 環境整備

2. 業務の効率化

3. 日課の見直し

4. PTA関連業務の見直し

5. 外部人材の活用

1. 環境整備①



印刷室に棚を設置し、搬入口を統一

→コピー用紙を別の場所から運ぶ必要がなくなった
在庫管理等の時間短縮が短縮された



職員室内に印刷機を設置

隣に作業台を併設

(大型パンチ・ラミネーター・カッティングボードを常設)

→必要な物の集約で、作業効率が上がった

1. 環境整備②



男子・女子休養室の整理整頓

→ 過ごしやすい環境で気持ちにゆとりができた



物品をラベリング

教職員が周囲の状況に気が付くようになった

1. 環境整備③

事務室で教職員の3か月先までの
の予定をカレンダーで共有

→事務職員の学校運営への参画を
促すことができた。

(例:各教科の実習費の会計管理)



2. 業務の効率化①

会議資料のペーパーレス化

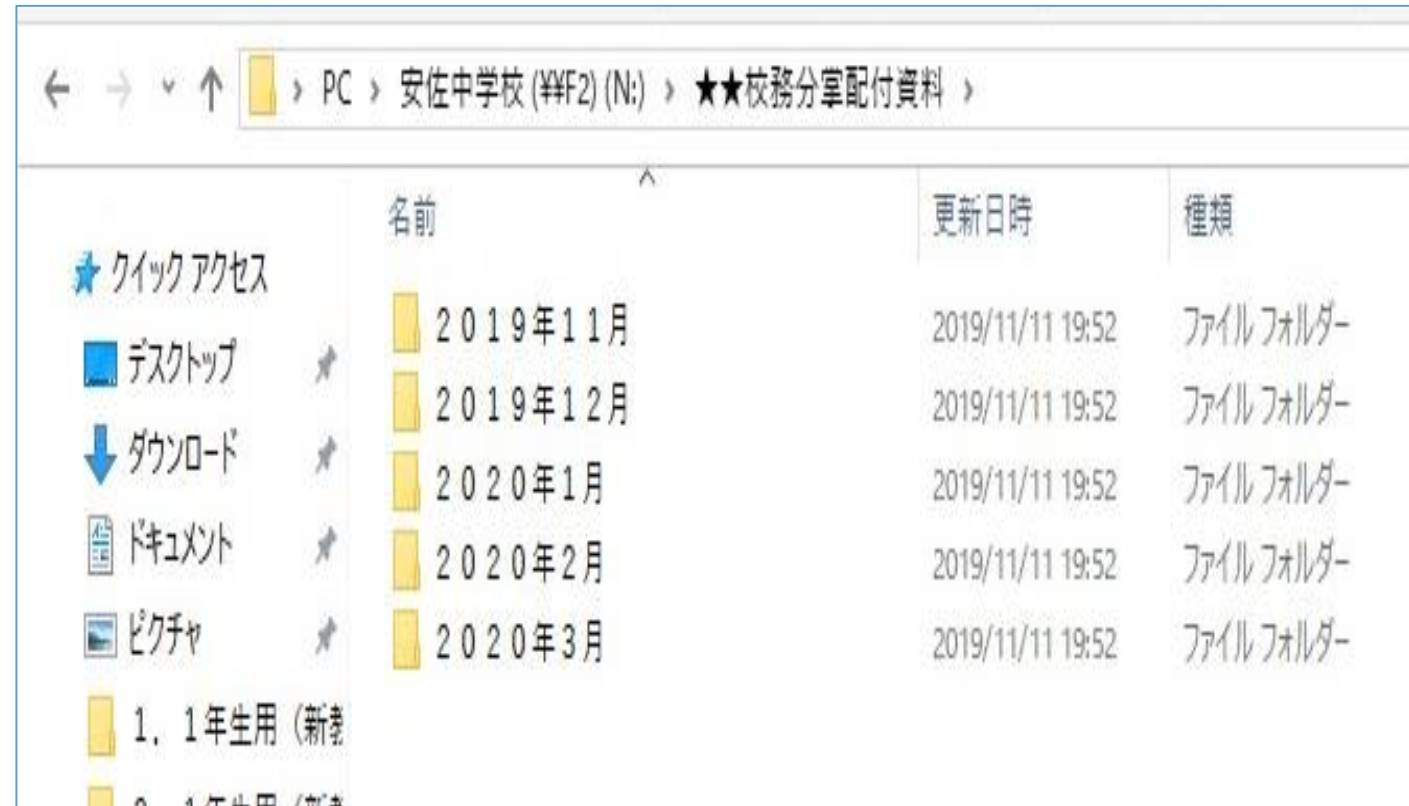
- 机上の整理につながる
- 紙の使用量を抑える
- 印刷・配付の時間を削減できる
- 資料の紛失を予防できる



2. 業務の効率化②

データの整理

→電子データの共有につながった



The screenshot shows a Windows File Explorer window with the address bar indicating the path: PC > 安佐中学校 (¥¥F2) (N:) > ★★校務分掌配付資料 >. The main area displays a list of folders organized by month. On the left, there is a sidebar with 'クイック アクセス' (Quick Access) and standard Windows locations like 'デスクトップ' (Desktop), 'ダウンロード' (Downloads), 'ドキュメント' (Documents), and 'ピクチャ' (Pictures). The main list has columns for '名前' (Name), '更新日時' (Last modified), and '種類' (Type). The folders are named with years and months, ranging from November 2019 to March 2020. All folders are of type 'ファイル フォルダー' (File folder).

名前	更新日時	種類
2019年11月	2019/11/11 19:52	ファイル フォルダー
2019年12月	2019/11/11 19:52	ファイル フォルダー
2020年1月	2019/11/11 19:52	ファイル フォルダー
2020年2月	2019/11/11 19:52	ファイル フォルダー
2020年3月	2019/11/11 19:52	ファイル フォルダー

3. 日課の見直し(放課後活動優先日)

朝 会	08:30~08:45	→	<u>08:30~08:35</u>
1校時	08:55~09:45	→	08:45~09:35
2校時	09:55~10:45	→	09:45~10:35

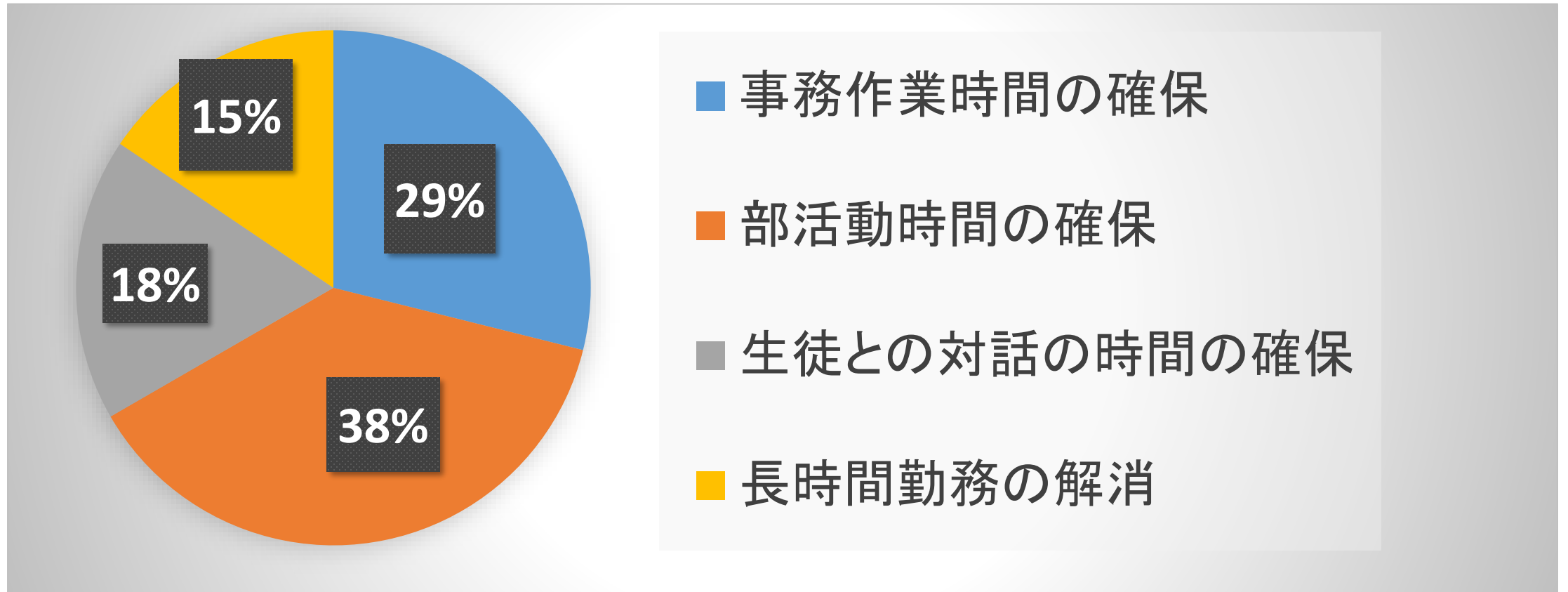
毎週木曜
週1回実施

朝会を短くし、掃除をなくし、
放課後に教員作業や部活動の時間を確保

5校時	13:30~14:20	→	13:15~14:05
6校時	14:30~15:20	→	14:15~15:05
掃 除	15:25~15:35	→	な し
暮 会	15:45~16:00	→	<u>15:15~15:30</u>

3. 日課の見直し(放課後活動優先日)

木曜日の日課変更を実施したことで効果があったと思われるものを、次のうちからお選びください。



「安佐中学校における働き方改革」についてのアンケート調査より

4. PTA関連業務の見直し①

～PTAと教員による祭礼の巡回指導の見直し～

昨年度

夏

- ・~~せせらぎの夕べ~~（生徒指導部、管理職のみ）
- ・~~緑井星空夜市~~

秋

- ・田中山神社
- ・~~宇那本神社~~（生徒指導部、管理職のみ）

冬

- ・毘沙門天初寅祭

→ 参加する行事の削減と参加メンバーの見直し

4. PTA関連業務の見直し②

校内PTA活動

- ・会議を減らし、教員・保護者で分担して作業が可能になるよう準備中
⇒PTA業務へのICTの活用



- ☆ 学校に集まることなく、PTA役員が各家庭で事務作業ができるようになる
- ☆ 教頭や教員が担当していた業務を見直す

5. 外部人材の活用

- (1) 部活動の支援
- (2) 放課後学習会の支援
- (3) 校内菜園(安佐ファーム)の支援
- (4) ボランティア活動の支援

(1) 部活動の支援

- 部活動指導員(2名)

体操部
吹奏楽部

年間515時間

- 部活動ボランティア(7名)

吹奏楽部(5名) 月のべ20時間

女子卓球部(1名) 月のべ 6時間

男子バスケットボール部(1名) 月のべ 6時間

安佐中学校の卒業生や顧問の知人などの協力

今年度の部活動実績

- 市大会出場

野球部・サッカー部

- 県大会出場

女子ソフトテニス部・女子バレーボール部・
女子卓球部・剣道部

- 中国大会出場

陸上部・水泳部

- 全国大会出場

吹奏楽部(マーチング)・水泳部

今年度の部活動の新人戦の実績

部活動	成績
女子バレーボール部	市大会優勝
サッカー部	市大会準優勝
体操部(男子)	市大会準優勝
体操部(女子)	市大会第三位
剣道部(女子)	市大会団体準優勝
陸上競技部(男子)	市大会総合準優勝
水泳部(男子・女子)	市大会団体優勝

(2) 放課後学習会の支援

- ・毎週月曜日（部活動休養日）と
試験週間に実施
- ・サポーター（6名）
退職された元安佐中学校教職員
学校協力者会議を通じて募集した方
大学生ボランティア（希望制）

(2) 放課後学習会の支援

11月末まで、

- ・参加サポーター数は5か月間で、
のべ105人
- ・参加生徒は、のべ475人



(3) 校内菜園(安佐ファーム)の支援

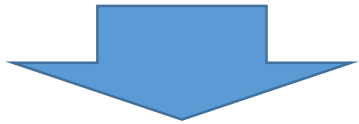
校内菜園「安佐ファーム」の指導(2名)
校長が地域の方に直接依頼

- ・月2回程度、畑の整備
- ・特別活動などの授業等にも参加し、生徒と共に活動



(4) ボランティア活動の支援

- ・生徒が地域貢献することは大切
- ・地域からのボランティア依頼も多い



絆コーディネーターが窓口となって、
地域と希望生徒との間をコーディネート

例) 地域のお祭りの手伝い

※絆コーディネーターは元保護者

→ 学校と地域の連携強化につながった。



働き方改革における取組の効果

今の働き方に満足していると答えた方（職員全体の53%）のうち、働き方に満足していると感じる理由は何ですか。

- メリハリのある働き方ができるようになったから。
- 専門性を生かした仕事に専念できるようになったから。
- 効果的・効率的な働き方ができるようになったから。



今年度の成果と課題

- 部活動において、限られた活動時間の中でも成果を出せたことで、保護者・地域からの理解が深まった。
- 地域の人材をうまく活用し、学校の活性化及び職員の負担軽減につなげることができた。
- 地域行事やPTA活動を見直すことができた。

- 校務運営上の共通したルールを明文化したものがなく、取組が軌道に乗るまでに時間がかかった。
- 働き方への意識改革が不十分であった。

次年度に向けての方向性

- ☆ より外部人材が活用できるよう、更なる地域への働きかけ
（学校としての人材バンクの確立）
- ☆ 学校マニュアルを作成し、職員間でルールの共有と徹底
- ☆ 校内研修等による意識改革

いじめ防止対策について

(1) 教員と児童生徒との信頼関係の構築

学校が安心して生活できる場となるために

- ・美しい環境づくり
- ・生徒間の良好な人間関係の構築
- ・生徒と教員の良好な人間関係の構築

そのための取り組みとして

①無言清掃

②人間関係スキル学習

①「無言清掃」の取り組み



①「無言清掃」の取り組み

- ・美しい環境が安心できる学校につながると考え実施
- ・今年度から全校で掃除方法を統一
- ・無言で考えながら清掃に取り組む
 - 自分の役割を果たすことで、**集団における自分の在り方を考える**
 - 気づき清掃を行うことで、**自分以外の周囲に目を向ける**



他者とのより良い関係づくり
生徒の自己肯定感の向上

②人間関係スキル学習

・4月と9月に2時間ずつ実施(合計4時間)

「人間関係スキル」とともに身につけさせたい力

総合的な

学習の時間

1 コミュニケーション能力

- ・自分の考えや思いを積極的に表現する力
- ・相手を尊重しながら話し合う力
- ・相手を意識しながら、話したり聞いたりする力

2 目標をもち、自らの生き方を考える力

- ・自ら課題を設定し、社会的な問題を取り出す力
- ・問題解決のために主体的に活動する力
- ・自分の考えをもち、より高い価値を選択する力

②人間関係スキル学習

ヘリウムフープ



パイプライン



②人間関係スキル学習

生徒会が1時間のアクティビティを運営



②人間関係スキル学習

活動の振り返り

STEP1 振り返ろう

1 うらがえ

①取り組んでいて難しいと感じたことは何ですか。

②棒を支え合っている同士で気づけたこと、声を掛け合っていたことは何ですか。

2 パイプライン

①取り組んでいて難しいと感じたことは何ですか？

②前回と比べて、工夫したことは何ですか？



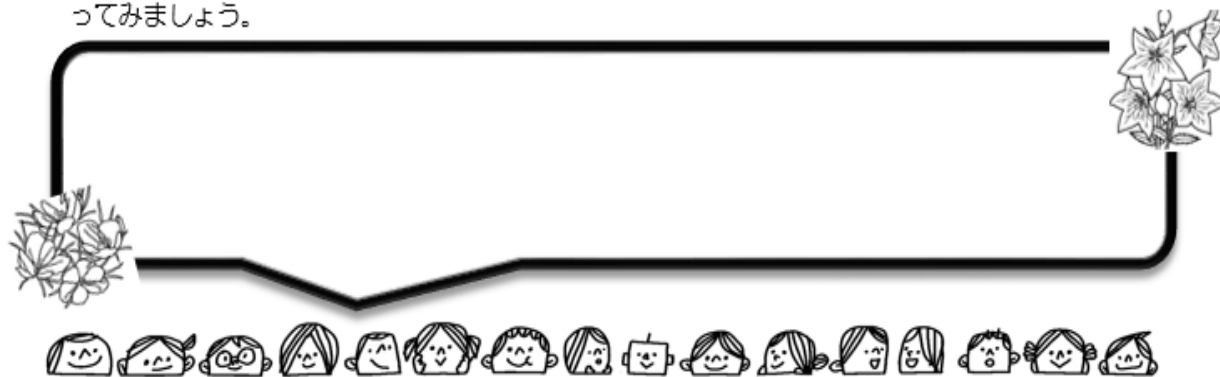
アクティビティの 経験をどう生かすか

STEP2 自分の生活を振り返る

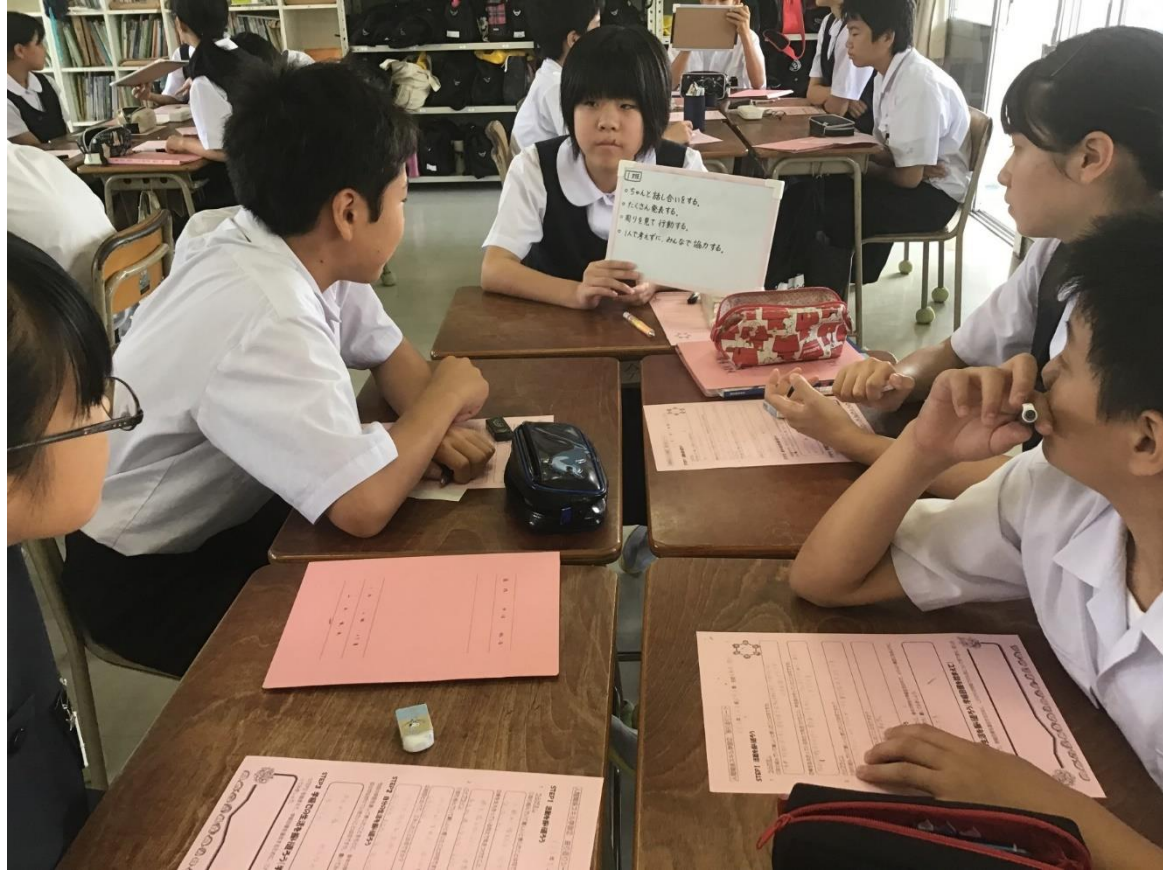
今回の学習を通して感じたことを
自分が心がけていきたいことは何

STEP3 学級での生活を振り返ろう(学級目標を踏まえて)

STEP2 を踏まえて、学級目標を達成するために、これからの学級での生活について班で考え、話し合
ってみましょう。



②人間関係スキル学習 振り返り



授業内での人間関係スキル(ライフスキル)

- ・英語の授業でのカードゲーム
- ・プリントを回収する時、早口言葉ゲームなどで集める人を決める
- ・授業をコの字型の隊形で互いの意見を交換しやすい環境をつくる

→相互交流により、良い人間関係を形成

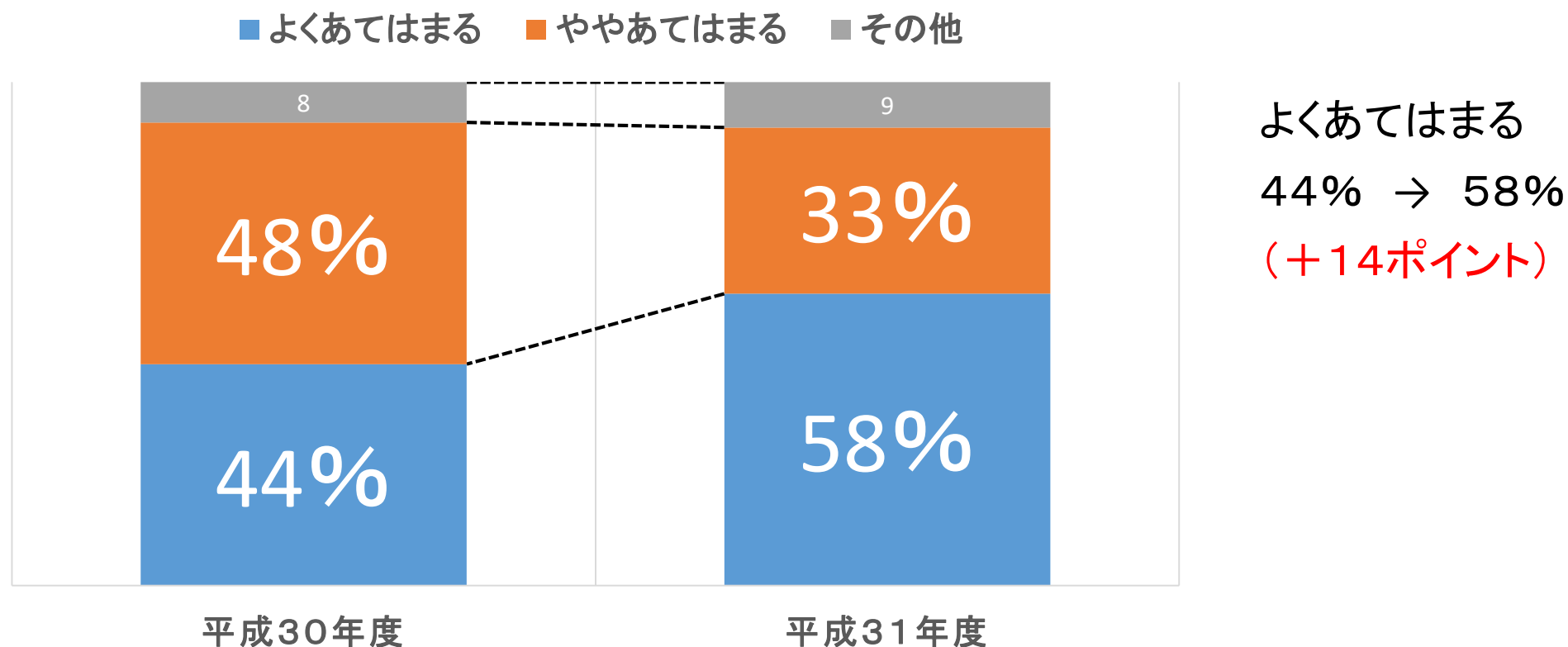


コの字型隊形の授業の様子

2つの取り組みの成果

学校評価アンケートの結果（平成30年度と31年度を比較）

質問：無言清掃に取り組み自分の役割を果たしている（**周囲との協力**）



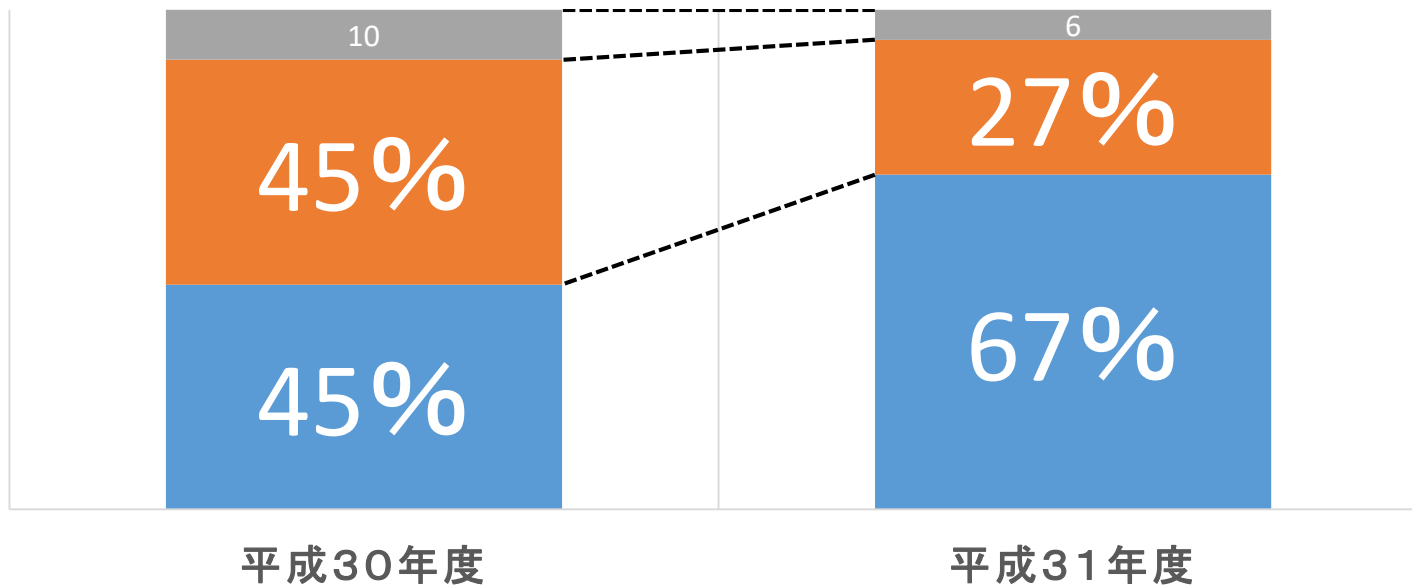
2つの取り組みの成果

学校評価アンケートの結果（平成30年度と31年度を比較）

質問：授業では、ペア・グループ学習で自分の考えを伝え、

仲間の考えを聴き合っている（授業におけるコミュニケーション）

■ よくあてはまる ■ ややあてはまる ■ その他



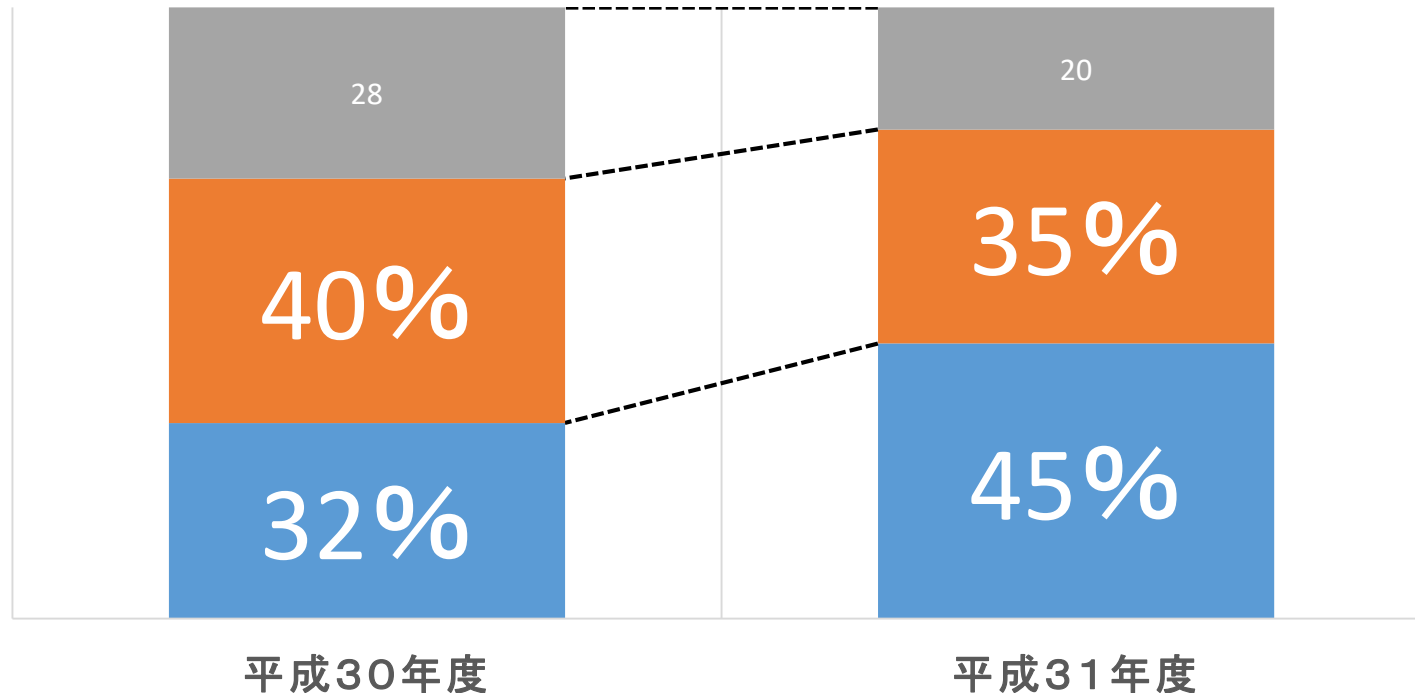
よくあてはまる
45% → 67%
(+12ポイント)

2つの取り組みの成果

学校評価アンケートの結果（平成30年度と31年度を比較）

質問：自分には良いところがあると思う（自己肯定感）

■ よくあてはまる ■ ややあてはまる



よくあてはまる
32% → 45%
(+13ポイント)

(2) いじめの未然防止と早期発見及び適切な対応

①いじめ防止等のための基本方針の改定

目 次

1 いじめの定義

2 いじめの特性

3 いじめの防止等に向けた基本的考え方

- (1) 学校として
- (2) 生徒として（内容は生徒会で決定）
- (3) 保護者として（内容はPTAで決定）
- (4) 地域の大人として（ふれあい活動推進協議会等で決定）

4 いじめの防止等のための体制の構築

- (1) 本校におけるいじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、法第22条の規定に基づき、常設の組織（学校いじめ防止委員会）を置く
- (2) 教育相談体制等の強化

5 いじめの防止等に向けて本校が実施する取組

- (1) いじめの未然防止
- (2) いじめの早期発見
- (3) 認知したいじめへの適切な対応
- (4) 情報引継ぎの強化
- (5) 教職員の資質能力の向上
- (6) 関係機関との連携

いじめの特性

- 2 いじめには、特性があり、これを十分に理解した対応が求められる。
 - (1) 大人が気付きにくく、判断しにくい形で行われる。
 - (2) 被害側にとって、いじめの告白自体、屈辱で自尊心を傷つけるもの
 - (3) 多くの生徒が入れ替わり被害・加害を経験する。
 - (4) 繰り返し行われ、再発することも多い。
 - (5) 「暴力を伴わないいじめ」であっても、人間の尊厳を奪い、生命又は身体に重大な危険を生じさせ得る。

いじめの防止等のための体制の構築 教育相談体制等の強化

(2)教育相談体制等の強化

「生徒指導主事」と「教育相談・支援主任」との次のような役割分担と、的確な実態把握・情報共有・引継ぎ等を連携して行うことにより、校内組織体制の充実を図る。

ア 生徒指導主事

被害側の思いを尊重した対応と加害側への効果的な指導を組織的に行うに当たって、中心的な役割を果たす。

「学校いじめ防止委員会」を中心とする校内組織の実効性を高めることや、管理職等からの指示・伝達や職員間の情報共有を確実に行う。

イ 教育相談・支援主任

支持的風土の醸成された学級づくりによる未然防止の取組を学校全体で進める中心的な役割を果たす。

「ふれあい相談窓口」の開設、生徒の希望を踏まえて相談相手の教職員を決定するなど、相談窓口を広げる工夫等を行い、生徒が少しでも相談しやすくなる環境を整える。

定期的な教育相談、状況に応じた随時の教育相談を組織的に実施する。相談は、学級担任だけでなく、相談内容に応じて教育相談・支援主任等が担当するなど段階的に行い、更に必要に応じてスクールカウンセラーや医療機関等につなぐ。

情報引継ぎの強化

教育委員会の引継ぎに係る指針に沿って、「特別な教育的支援を必要とする生徒」(生徒指導上の課題がある生徒、発達上の課題がある生徒、生活環境や生育歴に留意が必要な生徒)について、確実な引継ぎを行う。

【具体的な取組】

- 小中連携の引継ぎを行う
- 進級時の引継ぎを行う
- 「引継シート」、「個別の指導計画」の活用

②生活アンケートの実施

→いじめを発見するための新たな
アンケートを実施

例

○わけもなく、なぐられたり、けられたり
したことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

平成31年度 第2回 生活アンケート

(年 組 名前)

前回の生活アンケート(4/23)から本日まで、次のような経験をしたことがありますか。

書いたことは絶対に内緒にしますから、教えてください。

なお、アンケートを成績などには一切関係ありません。

回答には○をつけるだけで構いません。①だけ数字を記入してください。

①わけもなく、なぐられたり、けられたりしたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

②先生や大人の人のいない所で、いやなことをされたり、悪口を言われたりしたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

③「そうじをやっておけ」「かたづけしておけ」など、仕事を命令されたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

④遊びの時、仲間はずれにされたことはありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑤「ことばをかけない」「仲間に入れない」などの無視をされたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑥「○○さん」「○○君」と遊ぶのをやめようなどと、仲間はずれを話し合ったことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

②生活アンケートの実施

例

虐待についても確認

○身近な大人から暴力を受けたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

→項目を変えることができるため、
学校側が知りたいことをきける。

⑦上履をやえんびつなどをかくされたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑧「それをかせ」「これかきよ」などと言って、自分のものを押っつかれたまま返してくれないことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑨携帯やパソコンを通して悪口やうわさを書かれ、嫌な思いをしたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑩「お金を出せ」と言われて、とられたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑪「おこれよ」と言って、無理やりおこられたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑫身近な大人から暴力を受けたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑬ ①から⑫までについて、友達がやっていたり話をしていたのをみたことがありますか？

ない

ある(1～2回、3～4回、5回以上) それは、①～⑫の何番ですか？

() () () () () () () () () ()

②生活アンケートの実施

「ある」と回答した場合



- ・学年や生徒指導部で情報共有
- ・適切な方法で聴き取りを行う

平成31年度 第2回 生活アンケート

(年 組 名前)

前回の生活アンケート(4/23)から本日までに、次のような経験をしたことがありますか。

書いたことは絶対に正確にしますから、教えてください。

なお、アンケートを成績などには一切関係ありません。

回答には○をつけるだけで構いません。④だけは数字を記入してください。

①わけもなく、なぐられたり、けられたりしたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

②先生や大人の人はいない所で、いやなことをされたり、悪口を言われたりしたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

③「そうじをやっておけ」「かたづけしておけ」など、仕事を命令されたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

④遊びの時、仲間はずれにされたことはありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑤「ことばをかけない」「仲間に入れない」などの無視をされたことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

⑥「○○さん」「○○君」と遊ぶのをやめようなどと、仲間はずれを話し合ったことがありますか？

ある(1～2回、3～4回、5回以上)

ない

変更前

③教育相談アンケートの変更

第3回 教育相談アンケート（ 月 日）

年 組 番 名前

これからの中学校生活をより充実したものにしていくために、自分の今の生活を振り返ってみましょう。自分のこと、自分を取り巻く環境で気になることがあったら正直に書いてください。これから行う「教育相談」の資料としていくつもりです。

- 1、最近の学校生活で困っていること、悩んでいることはありませんか？
あれば、具体的に書いてください。

- 2、最近の家庭生活で困っていること、悩んでいることはありませんか？
あれば、具体的に書いてください。

- 3、学級の中で困っていること、悩んでいることはありませんか？
あれば、具体的に書いてください。

- 4、学校の内外を問わず、困っていることや悩んでいることがあれば書いてください。
また、他の人が困っていたり、悩んでいたりするような場面を見たり、聞いたりしたことがあれば書いてください。

③教育相談アンケートの変更

変更後

教育相談アンケート

() 年 () 組 () 番 ()

1. 学校生活を振り返ろう

①得意な教科は () です。

②苦手な教科は () です。

③授業中

(よく集中している ・ だいたい集中している ・ あまり集中していない ・ 集中していない)

④家庭学習(自主学習・提出物など)を

(よく頑張っている ・ まあまあ頑張っている ・ あまり頑張っていない ・ 頑張っていない)

⑤友達や先生など人間関係で心配なことや悩みが

(ない ・ ほとんどない ・ 少しある ・ ある)

⑥学校生活で心配なことや悩みが

(ない ・ ほとんどない ・ 少しある ・ ある)

2. 自分の学校生活に得点をつけるとしたら

3. 頑張っていることを書いてください。

/ 10

4. 学習について、心配なことや悩みがあれば書いてください。

5. 友達について、心配なことや悩みがあれば書いてください。

6. その他、学校生活について、心配なことや悩みがあれば書いてください。

今のあなたの心の健康状態は??

心 の 健 康 状 態	①最近、他の人と話をするのがイヤである。	はい 1点	いいえ 0点
	②最近、気持ちが落ち着かない。	はい 1点	いいえ 0点
	③最近、まぶたがピクピクする。	はい 2点	いいえ 0点
	④最近、なかなか考えがまとまらない。	はい 2点	いいえ 0点
	⑤最近、食欲がない。	はい 2点	いいえ 0点
	⑥最近、よく眠れないことがある。	はい 2点	いいえ 0点
	⑦最近、胸が苦しくなることがある。	はい 3点	いいえ 0点
	⑧最近、頭が重く感じられることがある。	はい 3点	いいえ 0点
	⑨最近、目がちらちらすることがある。	はい 3点	いいえ 0点
	⑩最近、いらいらすることがある。	はい 3点	いいえ 0点
心 の 健 康 状 態	1. あなたはどんな時ストレスを感じますか? ～例～友達とけんかしたとき、褒められたとき、など		
	記入欄		
	2. ストレスを感じるとあなたはどんな事になりますか? ～例～落ち込む、眠れなくなる、など		
心 の 健 康 状 態	記入欄		
	3. あなたのストレス発散方法は? ～例～音楽を聴く、カラオケに行く、クラブに参加する、など		
心 の 健 康 状 態	記入欄		

※①～⑩までの合計は・・・合計 () 点

<判定>

- 0点 心はいたって元気。全く心配なし!
- 1～5点 もう少し目標を立ててがんばってみよう。
- 6～10点 適度な状態。ちょうどよい心の状態です。
- 11点以上 ちょっと心配な状態! 早めのリフレッシュが必要。
- 12点以上 かなり心配な状態! 早急に心の悩みを相談しましょう!

③教育相談の期間の変更

昨年度約2ヶ月の期間



今年度は2週間前後の期間に

全学年が集中的に取り組める
生活アンケートの聞き取りもしやすい

④Q-Uの実施

- 学級における満足度、学校生活における意欲などを測定
- 年2回実施
- 結果を学校・学年で分析し、適切な対応を取る



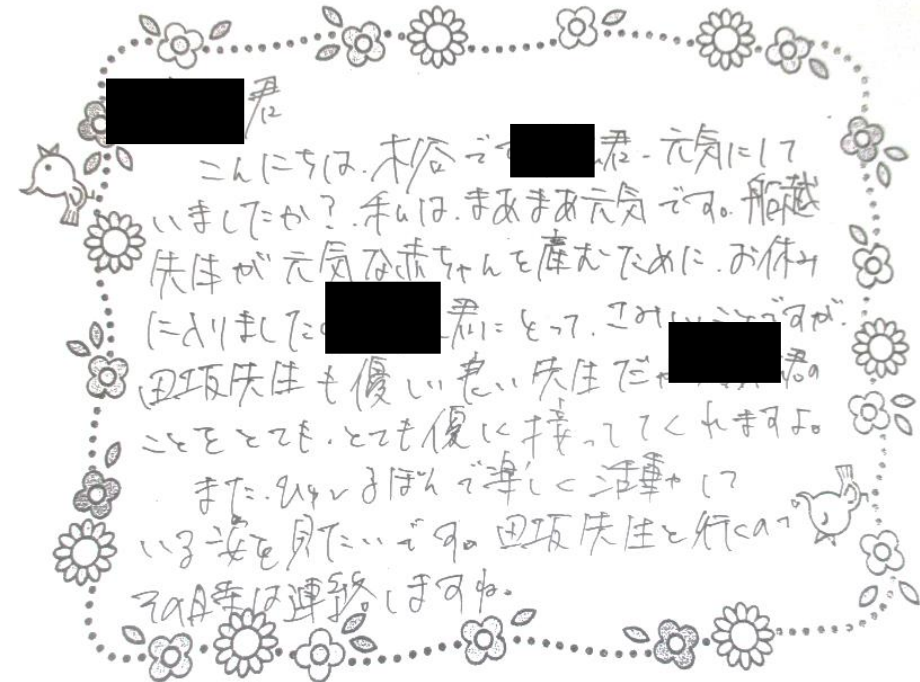
前述のアンケート等ではつかみにくい、生徒の困り感を支援

⑤教育相談・支援主任による家庭訪問

- ・不登校・不登校傾向の生徒への家庭訪問回数を増やす
(担任 ＋ 教育相談・支援主任)



学校とつながっている安心感
学校に支援を求めやすい環境



不在の時は手紙をポストイン

取り組みの結果

いじめを未然防止できた
生徒間トラブル
(平成31年度 12月まで)

1年生 25件

2年生 11件

3年生 5件 計 41件

(3) 校内組織体制の構築



①スクールカウンセラーの活用

- ・毎週木曜日に来校
- ・生徒や保護者へのカウンセリング
- ・生徒指導委員会への出席



- ・専門的な立場からの見解、
中学校だけでは把握できない情報



- ・より適切な対応が可能に
(カウンセリング・医療機関や専門機関への接続・連携)



生徒指導委員会

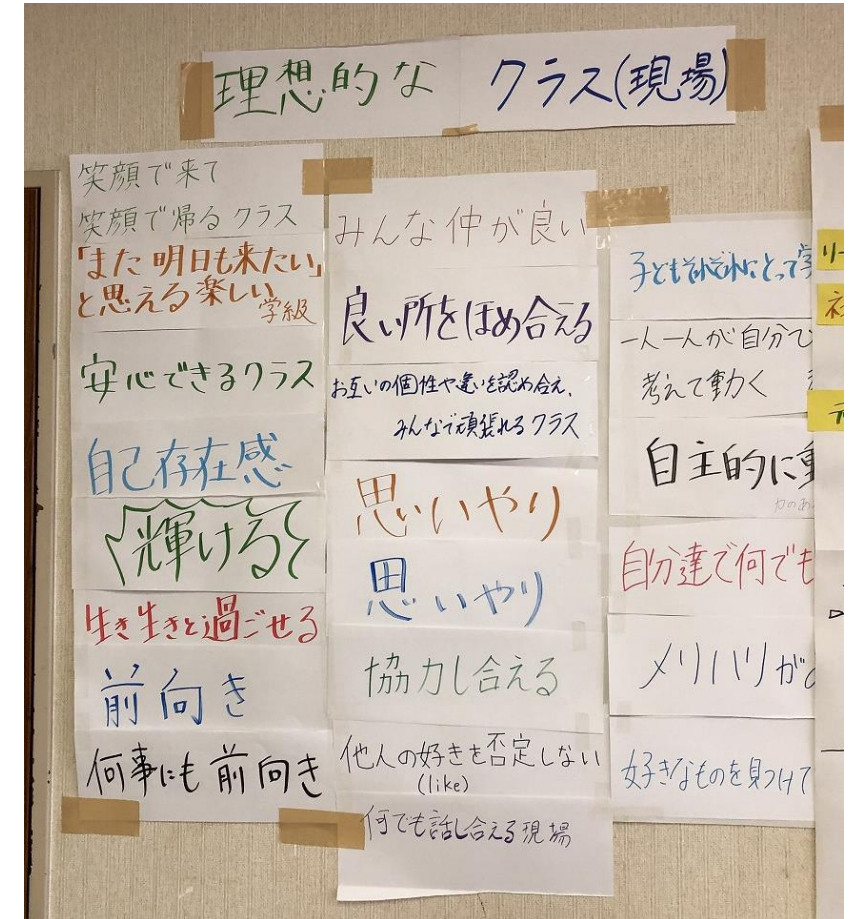
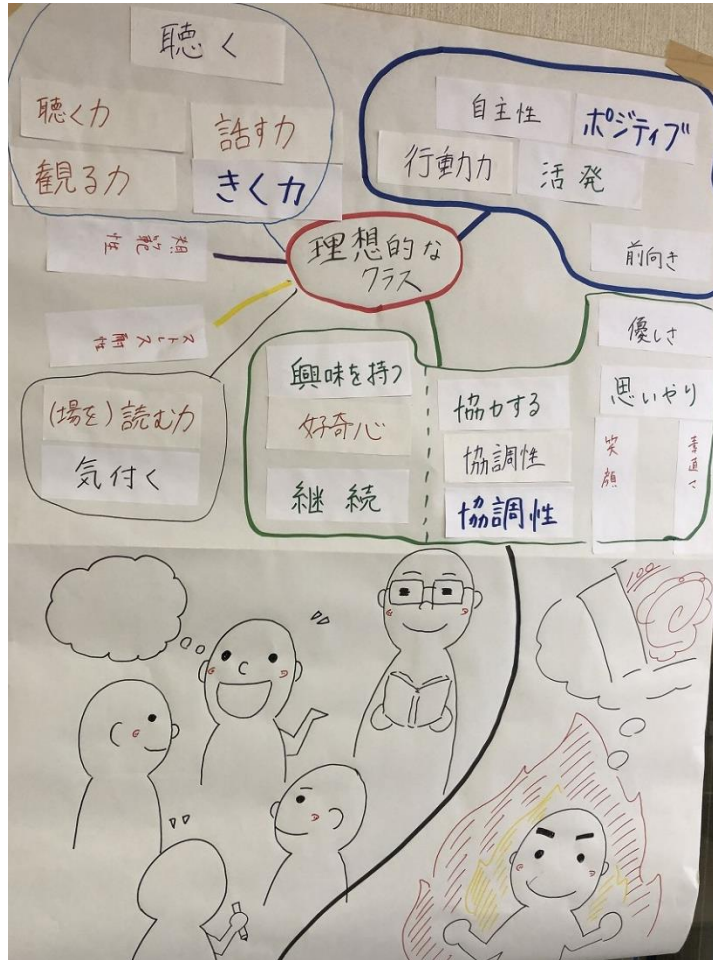
②意識統一のための校内研修 (無言清掃)



②意識統一のための校内研修 (人間関係スキル)



②外部のライフスキル研修への自主参加



②意識統一のための校内研修 (Q-U)



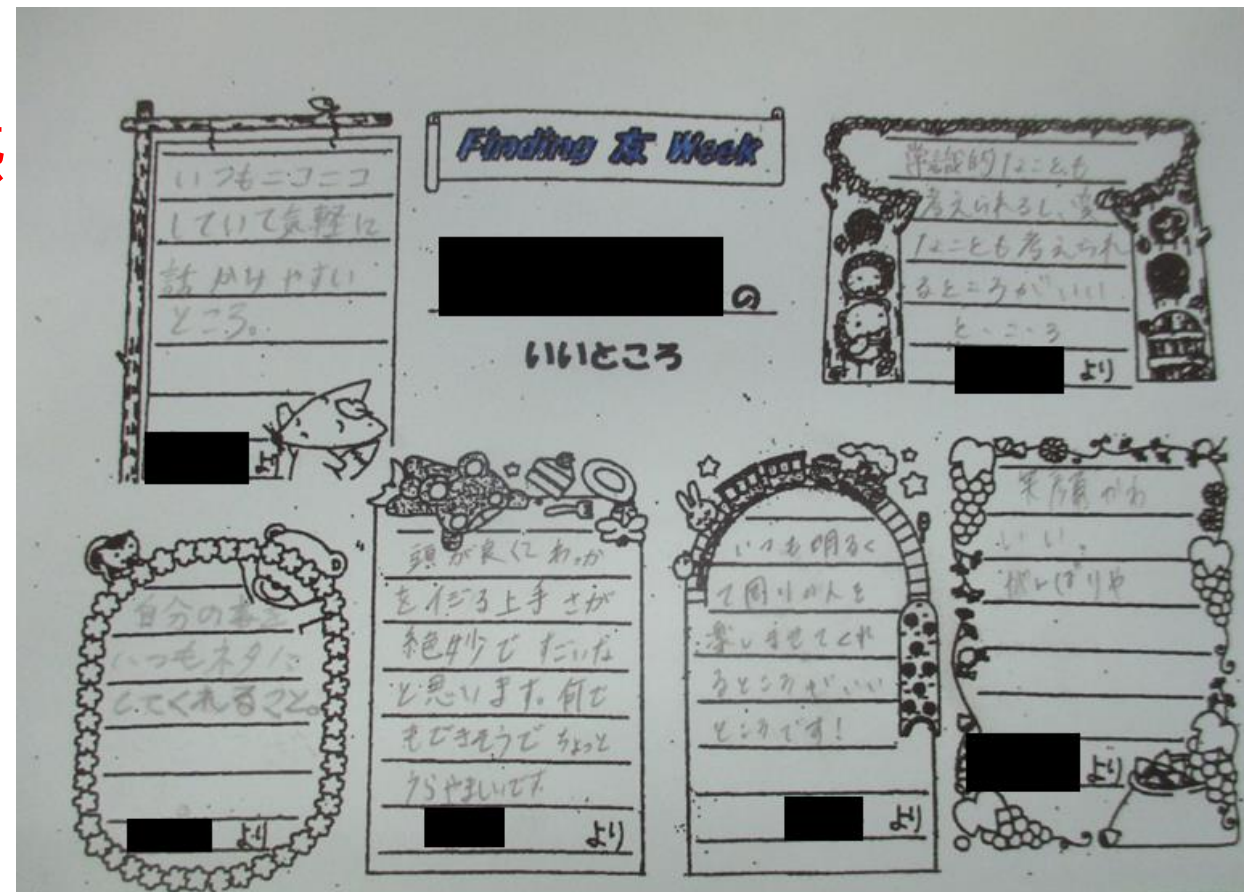
③生徒会の取り組み

・Finding 友 Week

班員や友達の良いところを書いてもらう取り組み



自分の良さに気づく → 自己肯定感
他人の良さを見つける習慣



③生徒会の取り組み

あいさつ運動

朝ボランティア



他者とのつながり・自己肯定感

まとめとして

(1) 安心して生活できる学校

地域人材の活用（学校の人材バンク）

→ 様々な立場からの支援

教職員による
環境整備

+

生徒による
無言清掃

→ 気付ける
教職員・生徒

(2) 教職員が一丸となった学校

校務運営上の
マニュアルの作成

+

生徒指導の
校内研修の充実

→ 職員の意識統一

ありがとうございました

自主敬愛